

## 量子科学技術委員会における第12期の活動について

令和5年6月19日  
研究計画・評価分科会  
量子科学技術委員会

### ○第6期科学技術・イノベーション基本計画に対応する取組について

#### (1) 各部会・委員会に関する研究及び開発等に関するもの

量子科学技術分野では、近年、民間企業を中心に研究開発や事業化等の取組が加速し国際競争が激化している。我が国では、令和5年4月に、統合イノベーション戦略推進会議において「量子未来産業創出戦略」が策定され、その着実な推進が求められている。

本分野は高度な技術力を必要とする産業であることから、産業化・実用化に向けては、大学・研究機関と民間企業との密接な連携や、スタートアップ企業の創出等が重要となる。また、これらを担う研究開発人材はもちろん、周辺技術分野や起業家等の裾野広い人材育成にも引き続き取り組んでいく必要がある。

これらの動向も踏まえ、今期の量子科学技術委員会においては、主に以下の点について検討する。

#### <量子科学技術委員会>

- 産学連携やスタートアップ企業創出のための方策の在り方
- 量子科学技術分野における、起業家等も含めた人材の裾野拡大、海外からの人材獲得のための方策の在り方
- 量子科学技術の普及啓発のための情報発信の在り方 等

#### <量子ビーム利用推進小委員会関連>

- SPRING-8 高度化について
- NanoTerasu の今後の共用ビームラインの在り方について
- 量子ビーム施設間の連携について

#### (2) 自然科学の「知」と人文・社会科学の「知」の融合である「総合知」の創出・活用に向けたもの

自然科学の「知」と人文・社会科学の「知」の融合である「総合知」の創出・活用については、「量子未来産業創出戦略」等に基づく政府全体の取組の進捗状況等や量子科学技術分野での関連する世界的な研究動向も踏まえ、本委員会においても適宜検討する。